

○再整備・再配置の方向性

金子地区

(1) 地域対応施設

施設名	再整備・再配置の方向性	整備パターン	メリット・デメリット
地区センター	多くの公共施設が集まっている現在の配置を維持し、既存施設の活用を前提とする。	1 金子公民館を活用する案	【メリット】 ・既存施設をそのまま活用することができる。 【デメリット】 ・複合施設として整備することを考慮した場合、敷地の拡張が難しい。
小学校	多くの公共施設が集まっている現在の配置を維持し、既存施設の活用を前提とする。	1 金子小学校を活用する案	【メリット】 ・既存施設をそのまま活用することができる。 【デメリット】 ・特に問題はない。
学童保育室	小学校の改修に合わせて校舎への複合化を図る。その際には、現在2つの建物に分かれているものを一本化して整備する。	1 金子学童保育室を小学校に複合化する案	【メリット】 ・既存施設をそのまま活用することができる。 【デメリット】 ・特に問題はない。
中学校	多くの公共施設が集まっている現在の配置を維持し、既存施設の活用を前提とする。	1 金子中学校を活用する案	【メリット】 ・既存施設をそのまま活用することができる。 【デメリット】 ・特に問題はない。
保育所	現在の場所での建替えの他、移転についても検討する。なお、移転先については、小学校隣接地も検討する。	1 既存施設を活用して統合する案	【メリット】 ・新たな用地取得が不要である。 【デメリット】 ・工事期間中、施設の休止や代替施設が必要である。 ・金子第一保育所は、借地であるため、可能な限り解消する必要がある。その場合、第二保育所が候補地となる。
		2 別の場所へ移転して新設する案	【メリット】 ・工事期間中、施設の休止や代替施設が不要である。 ・小学校隣接地に移転できれば、相互交流が可能となる。 【デメリット】 ・現地に施設がある場合、建設までに期間を要す。 ・市の所有地でない場合は、土地を購入する必要がある。
	統合しない場合の想定		【メリット】 ・施設の選択が残ることとなる。 ・現在の定数が維持できる。 【デメリット】

		・ 2 園を存続させた場合、1 園分よりも多くの維持管理及び運営費が見込まれるため、建替えや大規模改修（リニューアル）のための費用を確保することが難しくなる。
--	--	---

施設名	再整備・再配置の方向性	整備パターン	メリット・デメリット
老人憩いの家	施設更新は行わず、地域の自治会等への譲渡を検討し、施設機能は、他の地域対応施設に移転する。ただし、高齢者の利便性が著しく低下する場合は、一部施設の継続も検討する。	1	【メリット】 ・ 譲渡することにより施設面積が縮減できる。 【デメリット】 ・ 高齢者の利便性が低下する可能性がある。

(2) 広域対応施設

施設名	再整備・再配置の方向性
農村環境改善センター	機能を維持し、長寿命化を図る。
農業研修センター	機能を維持し、長寿命化を図る。